

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道10号 別大拡幅
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 6.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 9,548億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 25.53%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b (並行区間) について (藤原地区) 並行区間等の渋滞損失時間: 3.2万人時間/年 (国道10号, 国道213号, 日出B P) 並行区間等の渋滞損失削減率: 約2割削減 (国道10号, 国道213号, 日出B P) (別大地区) 並行区間等の渋滞損失時間: 50.3万人時間/年 (国道10号, 大分道 (別府-大分)) 並行区間等の渋滞損失削減率: 約4割削減 (国道10号, 大分道 (別府-大分))
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	日出町～大分駅 53分→36分 (17分短縮)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	大分市～大分空港 99分→82分 (17分短縮)
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	日出町～大分港 48分→31分 (17分短縮)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	1. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			

		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	大分市、別府市、日出町      大分市～日出町 54分→37分(17分短縮)
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	「大分県LS」クラスター形成推進会議」、その他「別大マラソン」  大分マリナパレス水族館「うみたまご」、年間動員客数128万人(九州データブック2006)
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	日出町～アルメイダ病院 65分→48分(17分短縮)
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input checked="" type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	H17道路交通センサス区間番号1003、死傷事故率525.1件/億台キロ  H17道路交通センサス区間番号1012、自動車交通量69,904台/日、自転車・歩行者交通量184台/12h

	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付けあり
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	別大地区：特殊通行規制区間（L=4.9km） 越波⇒解消
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：9,472.5t/年（別大地区）、2,143.2t/年（藤原地区）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 （推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：並行区間 【別大地区】国道10号、大分道（別府～大分） 【藤原地区】国道10号、国道213号、日出B P 排出削減率：24.4%（別大地区）、22.6%（藤原地区）削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 （推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：並行区間 【別大地区】国道10号、大分道（別府～大分） 【藤原地区】国道10号、国道213号、日出B P 排出削減率：21.0%（別大地区）、20.2%（藤原地区）削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道10号	別大拡幅	L = 22.6 km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26,900~69,500	4, 6	九州地方整備局

## ① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成19年度		
単純合計	755億円	191億円	946億円
うち残事業分	74億円	29億円	103億円
基準年における 現在価値 (C)	1,452億円	319億円	1,771億円
うち残事業分	65億円	13億円	79億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成19年度			
供用年	昭和49年度			
単年便益 (初年便益)	65億円	1.4億円	0億円	66億円
基準年における 現在価値 (B)	11,090億円	157億円	72億円	11,319億円
うち残事業分	112億円	1.3億円	1.9億円	115億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	6.4
費用便益比 (残事業)	1.5

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	26,900~69,500	±10%	1.3 ~ 1.6
事業費	74億円	±10%	1.4 ~ 1.6
事業期間	4年間	±20%	1.4 ~ 1.5

## 交通状況の変化

事業名：別大拡幅(事業全体)

(推計時点 H11年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [別大拡幅] : 22.6km	交通量	[台/日]	33,800	48,400	
	走行時間	[分]	50	33	
	走行時間費用	[億円/年]	430	404	
②主な周 辺道路	大分道 速見IC ~大分IC : 25.3km	交通量	[台/日]	20,600	13,300
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	92	60
	日出バイ パス 速見IC ~杵築IC : 15.5km	交通量	[台/日]	5,900	2,500
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	20	9
	(県) 亀川別府 線 : 6.6km	交通量	[台/日]	11,300	5,900
		走行時間	[分]	23	19
		走行時間費用	[億円/年]	66	28
	(市) 山田関の 江線 : 2.1km	交通量	[台/日]	27,600	9,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	44	15
	(県) 日出真那 井杵築線 : 7.0km	交通量	[台/日]	7,200	7,500
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	22	23
③その他道路合計 : 4412.9km	走行時間費用	[億円/年]	6839	6770	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4492.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7513	7310	203

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

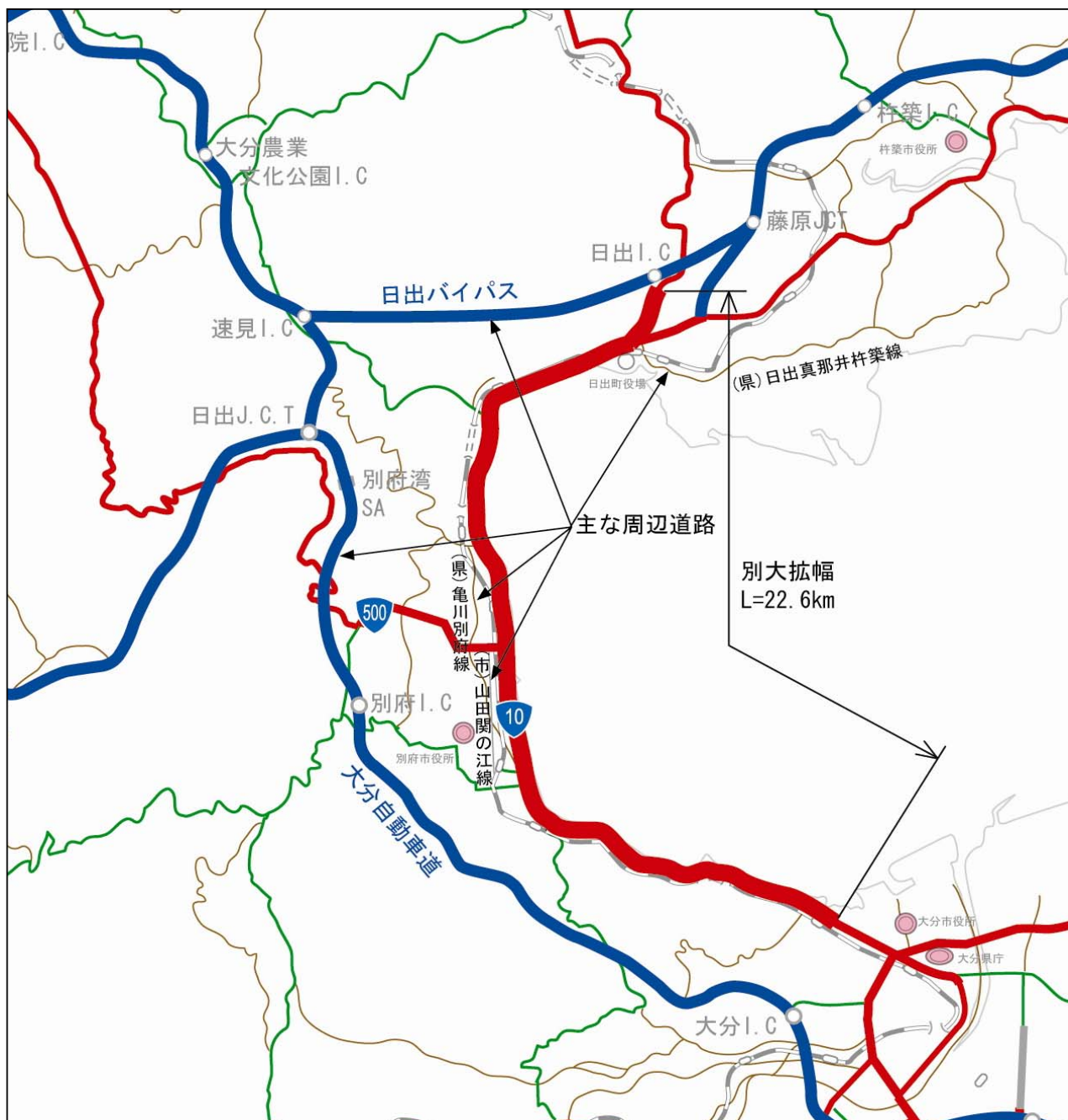
※1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名：別大拡幅(事業全体)



## 交通状況の変化

事業名：別大拡幅(残事業)

(推計時点 H11年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [別大拡幅] : 22.6km	交通量	[台/日]	48,200	48,400	
	走行時間	[分]	33	33	
	走行時間費用	[億円/年]	407.3	404.4	
②主な周 辺道路	大分道 速見IC ~大分IC : 25.3km	交通量	[台/日]	13,400	13,300
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	60.4	60.0
	日出バイ パス 速見IC ~杵築IC : 15.5km	交通量	[台/日]	2,600	2,500
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	8.8	8.8
	(県) 亀川別府 線 : 6.6km	交通量	[台/日]	5,900	5,900
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	28.2	28.2
	(市) 山田関の 江線 : 2.1km	交通量	[台/日]	9,800	9,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	14.9	15.0
	(県) 日出真那 井杵築線 : 7.0km	交通量	[台/日]	8,100	7,500
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	24.8	23.1
③その他道路合計 : 4412.9km	走行時間費用	[億円/年]	6769.1	6768.3	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4492.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7313.6	7307.9	5.7

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

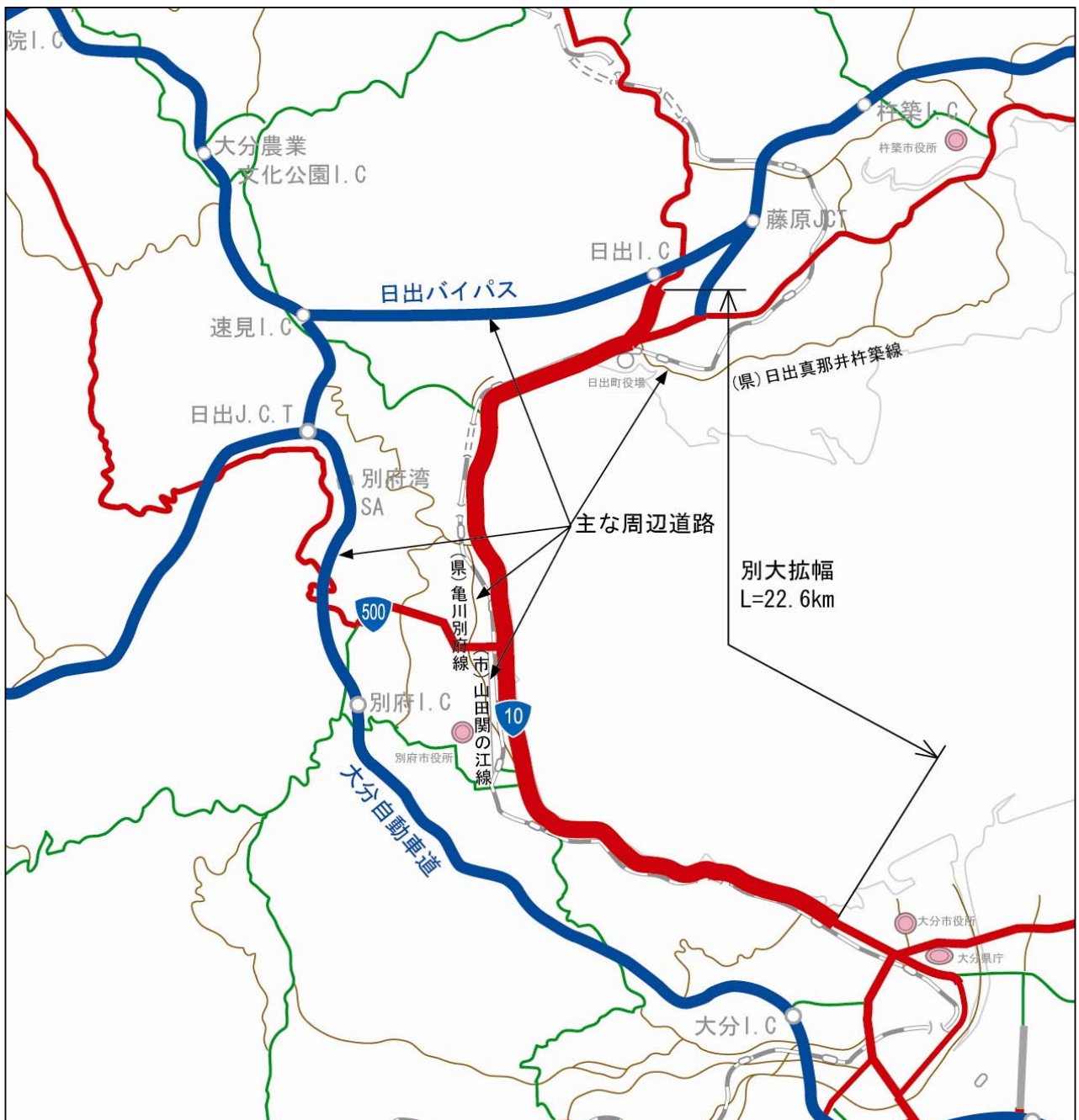
※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。



事業名：別大拡幅(残事業)



## 費用便益分析の条件

事業名：別大拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成19年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H11)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	



## 費用の現在価値算定表【全事業】

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道10号 別大拡幅

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	22.6	6.1

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
—13年目	S 36	6.0748	3.4	21		
—12年目	S 37	5.8412	3.4	20		
—11年目	S 38	5.6165	3.4	19		
—10年目	S 39	5.4005	3.4	18		
—9年目	S 40	5.1928	3.4	18		
—8年目	S 41	4.9931	3.4	17		
—7年目	S 42	4.8010	3.4	16		
—6年目	S 43	4.6164	3.4	16		
—5年目	S 44	4.4388	3.4	15		
—4年目	S 45	4.2681	6.4	27		
—3年目	S 46	4.1039	10	41		
—2年目	S 47	3.9461	10	40		
—1年目	S 48	3.7943	6.9	26		
部分供用開始年次	S 49	3.6484	7.9	29	1.4	5.3
1年目	S 50	3.5081	13	46	1.4	5.1
2年目	S 51	3.3731	6.8	23	1.4	4.9
3年目	S 52	3.2434	18	57	1.4	4.7
4年目	S 53	3.1187	32	100	1.4	4.5
部分供用年次	S 54	2.9987	32	97	3.2	9.7
6年目	S 55	2.8834	31	89	3.2	9.3
7年目	S 56	2.7725	33	92	3.2	9.0
部分供用年次	S 57	2.6658	34	92	4.6	12
9年目	S 58	2.5633	18	46	4.6	12
部分供用年次	S 59	2.4647	5.2	13	5.5	14
11年目	S 60	2.3699	2.1	5.0	5.5	13
12年目	S 61	2.2788	3.5	8.0	5.5	12
13年目	S 62	2.1911	5.3	12	5.5	12
14年目	S 63	2.1068	2.4	5.1	5.5	12
15年目	H 1	2.0258	0.68	1.4	5.5	11
16年目	H 2	1.9479	1.3	2.5	5.5	11
17年目	H 3	1.8730	0.29	0.55	5.5	10
18年目	H 4	1.8009	7.4	13	5.5	9.9
19年目	H 5	1.7317	11	19	5.5	9.5
20年目	H 6	1.6651	12	20	5.5	9.1
21年目	H 7	1.6010	21	34	5.5	8.8
22年目	H 8	1.5395	23	35	5.5	8.4
23年目	H 9	1.4802	12	17	5.5	8.1
24年目	H 10	1.4233	37	53	5.5	7.8
25年目	H 11	1.3686	23	32	5.5	7.5
26年目	H 12	1.3159	26	34	5.5	7.2
27年目	H 13	1.2653	20	25	5.5	6.9
28年目	H 14	1.2167	41	50	5.5	6.7
29年目	H 15	1.1699	34	40	5.5	6.4
部分供用年次	H 16	1.1249	22	25	5.5	6.2
部分供用年次	H 17	1.0816	12	13	5.5	5.9
32年目	H 18	1.0400	31	32	5.5	5.7
33年目	H 19	1.0000	38	38	5.5	5.5
部分供用年次	H 20	0.9615	19	18	5.5	5.3
35年目	H 21	0.9246	19	17	5.5	5.1
36年目	H 22	0.8890	19	16	5.5	4.9
37年目	H 23	0.8548	19	16	5.5	4.7
完成供用年次	H 24	0.8219			5.8	4.8
39年目	H 25	0.7903	-135	-107	5.8	4.6
合計			620	1452	191	319
単純事業費計			755		191	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 費用の現在価値算定表【残事業】

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道10号 別大拡幅

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	3.0	0.81

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
部分供用開始年次	H 20	0.9615	19	18	0.26	0.25
1年目	H 21	0.9246	19	17	0.26	0.24
2年目	H 22	0.8890	19	16	0.26	0.23
3年目	H 23	0.8548	19	16	0.26	0.22
完成供用年次	H 24	0.8219			0.77	0.63
5年目	H 25	0.7903			0.77	0.61
6年目	H 26	0.7599			0.77	0.59
7年目	H 27	0.7307			0.77	0.56
8年目	H 28	0.7026			0.77	0.54
9年目	H 29	0.6756			0.77	0.52
10年目	H 30	0.6496			0.77	0.50
11年目	H 31	0.6246			0.77	0.48
12年目	H 32	0.6006			0.77	0.46
13年目	H 33	0.5775			0.77	0.45
14年目	H 34	0.5553			0.77	0.43
15年目	H 35	0.5339			0.77	0.41
16年目	H 36	0.5134			0.77	0.40
17年目	H 37	0.4936			0.77	0.38
18年目	H 38	0.4746			0.77	0.37
19年目	H 39	0.4564			0.77	0.35
20年目	H 40	0.4388			0.77	0.34
21年目	H 41	0.4220			0.77	0.33
22年目	H 42	0.4057			0.77	0.31
23年目	H 43	0.3901			0.77	0.30
24年目	H 44	0.3751			0.77	0.29
25年目	H 45	0.3607			0.77	0.28
26年目	H 46	0.3468			0.77	0.27
27年目	H 47	0.3335			0.77	0.26
28年目	H 48	0.3207			0.77	0.25
29年目	H 49	0.3083			0.77	0.24
30年目	H 50	0.2965			0.77	0.23
31年目	H 51	0.2851			0.77	0.22
32年目	H 52	0.2741			0.77	0.21
33年目	H 53	0.2636			0.77	0.20
34年目	H 54	0.2534			0.77	0.20
35年目	H 55	0.2437			0.77	0.19
36年目	H 56	0.2343			0.77	0.18
37年目	H 57	0.2253			0.77	0.17
38年目	H 58	0.2166			0.77	0.17
39年目	H 59	0.2083	-9.5	-2.0	0.77	0.16
合計			65	65	29	13
単純事業費計			74		29	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 便益の現在価値算定表【全事業】

箇所名：一般国道10号 別大拡幅

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
部分供用年次	S 49	1.01751	0.99827	1.01019	3.6484	35	3.9	13	13	65	237	0.63	0.01	-0.15	0.88	1.4	5.0	0.0	0.0	66	242
1年目	S 50	1.01735	0.99826	1.01012	3.5081	36	4.0	13	13	66	230	0.64	0.01	-0.15	0.88	1.4	4.8	0.0	0.0	67	235
2年目	S 51	1.01719	0.99826	1.01005	3.3731	37	4.1	13	13	66	223	0.65	0.01	-0.15	0.88	1.4	4.7	0.0	0.0	68	228
3年目	S 52	1.01703	0.99826	1.00999	3.2434	37	4.2	13	13	67	217	0.66	0.01	-0.15	0.88	1.4	4.5	0.0	0.0	68	221
4年目	S 53	1.01688	0.99826	1.00992	3.1187	38	4.2	13	13	68	211	0.67	0.01	-0.15	0.88	1.4	4.4	0.0	0.0	69	215
部分供用年次	S 54	1.01672	0.99825	1.00986	2.9987	51	5.8	16	19	92	277	0.65	0.01	-0.23	1.2	1.6	4.8	0.51	1.5	94	283
6年目	S 55	1.01656	0.99825	1.00979	2.8834	52	5.9	16	19	93	269	0.66	0.01	-0.23	1.2	1.6	4.7	0.52	1.5	95	275
7年目	S 56	1.01640	0.99825	1.00972	2.7725	53	6.0	16	19	94	261	0.67	0.01	-0.23	1.2	1.6	4.5	0.53	1.5	96	267
部分供用年次	S 57	1.01624	0.99824	1.00966	2.6658	79	9.0	24	27	139	372	0.92	0.03	-0.20	1.6	2.4	6.3	1.1	2.9	143	381
9年目	S 58	1.01609	0.99824	1.00959	2.5633	81	9.1	24	27	141	361	0.93	0.03	-0.20	1.6	2.4	6.1	1.1	2.8	144	370
部分供用年次	S 59	1.01593	0.99824	1.00953	2.4647	100	11	29	29	169	416	1.5	0.03	-0.18	0.82	2.2	5.4	1.3	3.2	172	425
11年目	S 60	1.01577	0.99824	1.00946	2.3699	102	11	29	29	171	404	1.6	0.03	-0.18	0.82	2.2	5.3	1.3	3.1	174	413
12年目	S 61	1.01561	0.99823	1.00939	2.2788	103	11	29	29	172	393	1.6	0.03	-0.18	0.82	2.2	5.1	1.3	3.0	176	401
13年目	S 62	1.01545	0.99823	1.00933	2.1911	105	12	29	29	174	381	1.6	0.03	-0.18	0.82	2.3	5.0	1.3	2.9	178	389
14年目	S 63	1.01530	0.99823	1.00926	2.1068	106	12	29	29	176	370	1.6	0.03	-0.18	0.82	2.3	4.8	1.3	2.8	179	378
15年目	H 1	1.01514	0.99822	1.00920	2.0258	108	12	29	29	177	359	1.6	0.03	-0.18	0.82	2.3	4.7	1.3	2.7	181	367
16年目	H 2	1.01498	0.99822	1.00913	1.9479	110	12	29	28	179	349	1.7	0.03	-0.18	0.82	2.3	4.5	1.4	2.6	183	356
17年目	H 3	1.01482	0.99822	1.00906	1.8730	111	12	29	28	181	339	1.7	0.03	-0.18	0.82	2.3	4.4	1.4	2.6	185	346
18年目	H 4	1.01466	0.99821	1.00900	1.8009	113	12	29	28	183	329	1.7	0.03	-0.18	0.82	2.4	4.3	1.4	2.5	186	336
19年目	H 5	1.01451	0.99821	1.00893	1.7317	115	13	29	28	184	319	1.7	0.03	-0.18	0.82	2.4	4.1	1.4	2.4	188	326
20年目	H 6	1.01435	0.99821	1.00887	1.6651	116	13	29	28	186	310	1.7	0.03	-0.18	0.82	2.4	4.0	1.4	2.3	190	316
21年目	H 7	1.01419	0.99821	1.00880	1.6010	118	13	29	28	188	301	1.8	0.03	-0.18	0.82	2.4	3.9	1.4	2.2	192	307
22年目	H 8	1.01403	0.99820	1.00873	1.5395	120	13	29	28	190	292	1.8	0.03	-0.18	0.82	2.4	3.8	1.4	2.2	193	298
23年目	H 9	1.01387	0.99820	1.00867	1.4802	121	13	29	28	191	283	1.8	0.03	-0.18	0.82	2.5	3.6	1.4	2.1	195	289
24年目	H 10	1.01372	0.99820	1.00860	1.4233	123	14	29	28	193	275	1.8	0.03	-0.18	0.82	2.5	3.5	1.4	2.0	197	280
25年目	H 11	1.01356	0.99819	1.00854	1.3686	125	14	28	28	195	267	1.8	0.03	-0.18	0.82	2.5	3.4	1.4	2.0	199	272
26年目	H 12	1.01340	0.99819	1.00847	1.3159	126	14	28	28	197	259	1.9	0.03	-0.18	0.82	2.5	3.3	1.5	1.9	201	264
27年目	H 13	1.01322	0.99819	1.00840	1.2653	128	14	28	28	198	251	1.9	0.03	-0.18	0.82	2.5	3.2	1.5	1.9	202	256
28年目	H 14	1.01305	0.99819	1.00833	1.2167	130	14	28	28	200	244	1.9	0.03	-0.18	0.82	2.6	3.1	1.5	1.8	204	249
29年目	H 15	1.01288	0.99818	1.00826	1.1699	131	15	28	28	202	236	1.9	0.03	-0.18	0.82	2.6	3.0	1.5	1.7	206	241
部分供用年次	H 16	1.01272	0.99818	1.00820	1.1249	135	15	29	28	207	233	1.9	0.02	-0.19	0.81	2.5	2.9	1.4	1.6	211	237
部分供用年次	H 17	1.01256	0.99818	1.00813	1.0816	138	15	29	28	210	227	1.9	0.03	-0.20	0.82	2.5	2.8	1.4	1.5	214	232
32年目	H 18	1.01240	0.99817	1.00806	1.0400	139	15	29	28	212	221	1.9	0.03	-0.20	0.82	2.6	2.7	1.4	1.5	216	225
33年目	H 19	1.01225	0.99817	1.00800	1.0000	141	16	29	28	214	214	1.9	0.03	-0.20	0.82	2.6	2.6	1.4	1.4	218	218
部分供用年次	H 20	1.01210	0.99817	1.00794	0.9615	143	16	29	29	217	208	1.9	0.02	-0.20	0.82	2.6	2.5	1.4	1.4	221	212
35年目	H 21	1.01196	0.99816	1.00787	0.9246	145	16	29	29	219	202	2.0	0.02	-0.20	0.82	2.6	2.4	1.5	1.3	223	206
36年目	H 22	1.01182	0.99816	1.00781	0.8890	147	16	29	29	220	196	2.0	0.02	-0.20	0.82	2.6	2.3	1.5	1.3	225	200
37年目	H 23	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	149	16	29	28	222	190	2.0	0.02	-0.20	0.82	2.6	2.3	1.5	1.3	226	194
完成供用年次	H 24	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	152	17	29	29	226	186	2.1	0.03	-0.17	0.83	2.8	2.3	1.6	1.3	231	190
39年目	H 25	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	153	17	29	29	228	180	2.1	0.03	-0.17	0.83	2.8	2.2	1.6	1.3	232	183
合計(S49~H25)						4,250	471	1,023	1,027	6,772	11,090	61	0.99	-7.4	36	91	157	46	72	6,909	11,319

## 便益の現在価値算定表【残事業】

箇所名：一般国道10号 別大拡幅

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
部分供用年次	H 20	1.01210	0.99817	1.00794	0.9615	0.68	0.06	0.11	0.26	1.1	1.1	-0.01	0.0	-0.01	0.01	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01	1.1	1.1
1年目	H 21	1.01196	0.99816	1.00787	0.9246	0.69	0.06	0.11	0.26	1.1	1.0	-0.01	0.0	-0.01	0.01	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01	1.1	1.0
2年目	H 22	1.01182	0.99816	1.00781	0.8890	0.70	0.06	0.11	0.26	1.1	1.0	-0.01	0.0	-0.01	0.01	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01	1.1	0.98
3年目	H 23	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	0.71	0.06	0.11	0.26	1.1	0.97	-0.01	0.0	-0.01	0.01	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01	1.1	0.95
完成供用年次	H 24	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	4.2	0.50	0.87	0.92	6.5	5.3	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.07	0.12	0.10	0.91	5.5
5年目	H 25	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	4.2	0.50	0.87	0.92	6.5	5.1	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.06	0.12	0.09	6.7	5.3
6年目	H 26	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	4.2	0.50	0.87	0.92	6.5	5.0	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.06	0.12	0.09	6.7	5.1
7年目	H 27	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	4.3	0.50	0.87	0.92	6.5	4.8	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.06	0.12	0.09	6.7	4.9
8年目	H 28	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	4.3	0.50	0.87	0.92	6.6	4.6	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.06	0.12	0.08	6.8	4.8
9年目	H 29	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	4.3	0.50	0.87	0.92	6.6	4.5	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.05	0.12	0.08	6.8	4.6
10年目	H 30	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	4.3	0.50	0.87	0.92	6.6	4.3	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.05	0.12	0.08	6.8	4.4
11年目	H 31	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	4.4	0.50	0.87	0.92	6.7	4.2	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.05	0.12	0.07	6.9	4.3
12年目	H 32	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	4.4	0.50	0.87	0.92	6.7	4.0	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.05	0.12	0.07	6.9	4.1
13年目	H 33	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	4.4	0.50	0.87	0.92	6.7	3.9	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.05	0.12	0.07	6.9	4.0
14年目	H 34	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	4.4	0.50	0.87	0.92	6.7	3.7	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.07	6.9	3.9
15年目	H 35	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	4.5	0.50	0.87	0.92	6.7	3.6	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.06	6.9	3.7
16年目	H 36	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	3.5	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.06	7.0	3.6
17年目	H 37	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	3.3	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.06	7.0	3.4
18年目	H 38	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	3.2	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.06	7.0	3.3
19年目	H 39	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	3.1	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.05	7.0	3.2
20年目	H 40	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	3.0	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.04	0.12	0.05	7.0	3.1
21年目	H 41	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.9	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.05	7.0	3.0
22年目	H 42	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.8	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.05	7.0	2.8
23年目	H 43	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.7	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.05	7.0	2.7
24年目	H 44	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.6	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.05	7.0	2.6
25年目	H 45	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.5	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.04	7.0	2.5
26年目	H 46	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.4	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.04	7.0	2.4
27年目	H 47	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.3	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.04	7.0	2.3
28年目	H 48	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.2	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.03	0.12	0.04	7.0	2.2
29年目	H 49	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	4.5	0.50	0.87	0.92	6.8	2.1	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.04	7.0	2.1
30年目	H 50	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	4.5	0.50	0.87	0.91	6.7	2.0	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.04	6.9	2.1
31年目	H 51	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	4.5	0.50	0.87	0.91	6.7	1.9	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.9	2.0
32年目	H 52	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	4.4	0.50	0.87	0.90	6.7	1.8	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.9	1.9
33年目	H 53	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	4.4	0.50	0.87	0.90	6.7	1.8	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.9	1.8
34年目	H 54	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	4.4	0.50	0.87	0.90	6.7	1.7	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.9	1.7
35年目	H 55	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	4.4	0.50	0.87	0.90	6.7	1.6	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.9	1.7
36年目	H 56	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	4.4	0.50	0.87	0.90	6.6	1.6	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.8	1.6
37年目	H 57	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	4.4	0.50	0.87	0.90	6.6	1.5	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.8	1.5
38年目	H 58	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	4.3	0.50	0.87	0.90	6.6	1.4	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.03	6.8	1.5
39年目	H 59	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	4.3	0.50	0.87	0.90	6.6	1.4	0.04	0.0	0.02	0.02	0.08	0.02	0.12	0.02	6.8	1.4
合計(H20~H59)						161	18	32	34	245	112	1.4	0.0	0.68	0.76	2.8	1.3	4.3	1.9	247	115